

双鷺洲



謹んで新春のおよろこびを

申し上げます

念頭のご挨拶

雙浦コミュニケーション運営委員長

田中信一



新年明けましておめでとうござい
ます。皆様には希望に満ちた、清々
しい新春をお迎えのことと、心から
お慶び申し上げます。

昨年、国外ではイラクをはじめ各
国で発生するテロ活動の脅威や、北
朝鮮の核施設問題など、人々の平穏
な生活を脅かす出来事が後を絶た
ず、また、国内に於いては食品の賞
味期限や製造年月日の改ざん、さら
には防衛省職員の高職など企業や官
公庁のコンプライアンスを問う事件
が相次いだ年でもありました。

一方でわが国の経済は、弱さはみ
られるものの景気回復が続けられて
います。しかし、米国の住宅ローン
問題を背景に、金融資本市場の変動
や原油価格の動向が、内外経済に与
える影響は深刻な状況が生じており

ます。こうした中、国において
は昨年7月に地域格差や「政治
とカネ」の問題などを争点に参
議院選挙が実施され、9月には
新たに福田内閣が誕生しました。

新しい内閣のもとで行財政改
革、地方分権など日本の将来を
左右する重要な案件が推進されん
としており、特に地方分権改革
は地域間の格差を是正し、個性
を生かした創造性にあふれた社
会を実現するために必要不可欠
なと思われれます。

本市においても、他市に先駆
けて市町村合併に取り組んで参
りましたがそれを実効あるもの
にするためには、合併の成果を
検証しながら、市町の体制の確
立と広域的なまちづくりの推進
に取り組んでゆく必要があるう
と思えます。このため県の指針
である「元氣挑戦プラン」に基
づき活力と安心、希望のある「元
氣なまきしま」を目指し離島文
化の振興、推進とまちづくり
に取り組んで参りたいと思ってい
ます。

どうか今年も変わらざるご支援、
ご指導を賜りますようお願い申
し上げ新春のご挨拶とします。

雙浦町内会長 開本益夫



新年明けましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては、こ
家族お揃いで和かに輝かしい新春
をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

平素より、町内会の諸行事等に
対し、ご理解、ご協力をたたくて
おりますことに感謝いたしており
ます。

昨年は、国の世相を表す漢字に
「偽」が選ばれ、誠に情けない事
件が続発するなど、モラル・倫理
観が極端に低下をもたらした年で
あったように想います。

私たちの島においては、ふるさ
と館の開催、ニューシールドと
の友好植樹祭・相互交流会、映画
「裸の島」のクローズアップなど
歴史的なできごとがありました。
また一方で、少子化が進む中で
雙浦中学校が卒業生・島民として
寂しさと惜別の念につつまれなが
ら60年の歴史を閉じ、第二中学校
に統合され、閉校することになり
ました。

という誠に寂しい言葉が取り沙汰さ
れていきます。

私たち佐木島は昨年三原市民体育
大会において優勝（Cクラス）・町
民あげてのボランティアによるトラ
イアスロン大会開催・消防団をはじ
め、女性会、老人会、架橋促進委員
会、ボランティアアガイトなど高齢化
は進んでいます。またまた元気で
活力ある島であると思っています。

今後、中・長期的な展望を想定し
ながら島民が安全で安心して生活で
きる地域づくりをしていくことが求
められています。そのためには、現
状を悲観的マイナス的に捉えるので
はなくプラス思考をもって現状を変
えていく知恵を出し合いながら、対
策を講じていかなければならないと
思っています。そういう意味におい
ても、町内会に対し、多様なご意見
・ご要望をお寄せいただき、共に住
みよい地域づくりのために、皆様の
一層のご理解・ご協力をお願い申し
上げ新年のご挨拶といたします。

三原市議会議員 白須 均



明けましておめでとうございま
す。旧年中は何かとお世話になり、
ありがとうございました。本年も何
卒、宜しくお願ひ申し上げます。
さて、平成19年度は安倍総理の突

然の辞任で国会は混乱しながらも
福田総理が誕生しました。しかし、
インド洋上に於ける給油支援活動
問題をはじめ、国民の一番関心が
高い年金問題や防衛省の不祥事等
々でこれから先が思いやられます。

正月早々で慶事を述べたいので
すが、今の日本を見ると、残念あ
ながら、将来に不安を感じざるを
えません。

そうした中、三原市を振り返り
ますと昨年は芸術文化施設ボロ
が閉館し、市民に喜んでもらえる
施設として今後の利用増大を期待
するところとす。

三原市は合併して3年が経過し
ようとしている中、合併特例債を
利用して新庁舎建設に向けて動き
出しております。市民の中には、
今の庁舎で我慢したらどうかとの
意見もあります。皆さんいかが思
われますか？。また、本年は次の
選挙に議員定数を決めることにな
っております。現在37人ですが、
国の制度下では34人以下となつて
います。私の個人的な考えでは28
人位で良いのではないと思ひますが、
この意見は通らないかもしれませ
ん。過疎、高齢化、人口減が進む
雙島に住む一議員として、本年も
市民の声を行政に反映させるべく
鋭意努力して参りたいと思ひます。
皆様の一層のご理解とご支援を
お願い申し上げますと共に、皆様の
ご健勝とご多幸を祈念申し上げ、
新年の挨拶と致します。



新年明けましておめでとござい
ます。旧年中は何かとお力添えをい
ただき誠に有難うござい
ました。

振り返ってみますと、耐震偽装に
始まった偽りは、防衛省の不祥事
相次ぐ食品の偽装販売・賞味期限の
改ざん等々、企業モラルの低下がい
ちじるしく、社会的責任をどのよう
に考えているのか謝罪して済む問題
なのでしようか。更に地域規模で進
む環境破壊は温水や高温という異常
気象をもたらし、今や自然と人間社
会崩壊の危機感が漂っている昨今で
あります。

本市におきましては、66年間市民
の足として頼まれてきた市営バス
が、経営困難により今年4月から芸
陽バス他2社の民間バス事業者に委
譲しました。未だに解決されていな
い交通弱者に対する生活交通の確保
については、市の補助により電話一
本で送迎できる「ワンストップ」の
普及・啓発について山口市や北広島
・大和町での実態調査を進めており
早期実現を目指しております。

過疎対策においては「過疎法」が
期限切れとなる2009年度にむ
け、中四国9県が2007年内に新
法制定を共同で政府に提案する検討
が進められました。新法のなかで生
活航路である鴨・三原間の運行事業

者への助成等、運賃抑制ができるよ
う強力な働きかけをしていきたいと
考えております。

昨年4月にオープンした住民手作
り博物館であるふるさと館も、開館
一周年目の初春を迎えましたが、愛
好家による絵画等の入れ替え展・花
展、更に雛人形・五月人形展等々装
いも新たに新春を迎えております。

開館後も資料の換入が相次いでおり
少しずつ様変わりしている状況であ
ります。

過疎化し超高齢化(53%)した佐
木島の活性化は、今後、観光振興が
不可欠であり、厄介者のイノシシを
逆手にとった街づくり、ふるさと農
園の生成に伴う観光農業の取り組
み、島内の神社・仏閣等、文化財を
活用した観光ルートの作製等、観光
振興が一つの活路であり、市・県と
佐木島の協働の街づくりを進めてい
きたいと考えております。

今後の、活性化活動は、ハード・
ソフト面共に費用対効果面で大変難
しくなってきましたが、ふるさとへの
愛着と熱意があれば佐木島は不滅で
す。幸運を呼ぶ伝統文化の導入等、
今年も課題解決のために尽力してま
いります。ご指導ご鞭撻のほど宜し
くお願い申しあげ、念頭のご挨拶と
いたします。

民生委員改選
11月に民生・児童委員の改選が
あり、前三原市民生・児童委員会
長 西原 弘氏・向田区山下八重
子氏の2名が退任され、後任に土

田美千恵氏(向田)が選任されまし
た。長きにわたって町民の福祉活動
にご尽力いただいた2名の方々に深
く感謝申し上げます。なお、調整区
の変更により、鴨区は4名で本町・
港・古浜・旭町などとの合同区にな
りました。



西原 弘

「民生委員活動について思う」
民生委員とはどんな活動をするの
か、全然解らずに平成四年十二月一
日に厚生大臣の委嘱状を拝受いたし
ました。

新任の民生委員が職務を行うに必
要な知識が広汎にわたるため、県の
研修会が開催され、民生委員法第十
条「民生委員の任期は一期三年で、
給与は支給しないものとする」ボラ
ンティアであること、福祉について
等々を学びました。福祉用語が解ら
ない中での研修で苦勞した思い出が
あります。

それ以来今日まで、五期十五年間そ
の任に当たって参りましたが、定年
で平成十九年十一月三十日を以て退
任いたしました。

民生委員の活動は、社会奉仕の精
神をもって、常に住民の立場に立っ
て相談に応じ、必要な援助を行うと
して参りましたが、地域住民の福祉二
ーズは時代とともに変化してきてお
り、民生委員自らが社会や経済情勢、

住民の生活等を適切に捉え、活動
をしていく必要があります。
様々な生活上の問題についての
悩みを持つ人が増えてき、しかも、
近隣者との関係が希薄化している
現状ではその実態がなかなか見え
て参りません。
特に高齢者は、一年毎に加齢に
よる障害が発生してきます。一日
中外出することもなく家にこもり
がちになり、孤独になるおそれが
あります。

このため、民生委員は地域住民
が年を取っても安心して生活が送
れるよう、日々の安否確認や友愛
訪問などによる見守り活動をして
おります。退任しましても、民生
・児童委員活動に微力ながら協力
していきたいと思っております。

アンケートのお願い
トリアスロン検討委員会
すでに各区からお願ひしている
トリアスロンのアンケートは、
中学生以上、全町民の皆さんに記
入をお願いいたします。

1月中旬に集約し、2月の検討委
員会で協議する大切な資料として
使わせていただきます。
最近の情報によりますと、他の
中四国でのトリアスロンは継続
が困難になりつつあり、国体の種
目になるので、さきしま大会が注
目されています。こんなに長く、
継続していると言うことは地域の
団結のすばらしさに尽きます。

佐木島の皆さんに転載です。

- 町内会行事予定 (三ヶ月)
- 1/1(火) 元旦祭(歳祝い) 厄払い
- 6(日) 消防出初式・報告会
- 10(木) トライ・アンケート締切
- 12(土) 伊勢講(須ノ上)
- 13(日) 初祈祷(須ノ上)
- 14(月) 御大師さん
- 20(日) 第3回市民ビーチボール大会
- ※ 架橋 樹木の伐採
- 25(金) トリアスロン委員会
- 2/11(月) 初祈祷(向) 祈年祭(佐)
- 22(金) 第2回検討委員会
- 防火訓練(佐木)
- 3/9(日) 中学校卒業式
- 14(金) 卒園式
- 21(金) 小学校卒業式
- 23(日) 中学校閉校式

俳句・山柳・短歌

- ・参道に 松と鶴あり 初詣
- ・螢光燈 妻とわけあい 年賀かく
- ・大笑い 何はなかくとも 健康美
- ・年が行く なせが寂しい 体の動き
- ・毎としの 勤勞感謝の日たがわすに
- ・咲き初む我家の さきんか律儀
- ・年ごとに 造花増えゆく墓地なりし
- ・高齢社会 大波と寄せ来る
- U H
- ・二〇〇七 悲劇もありて辛かりし
- ・一に健康 せいたく言わす
- ・ウオーキング 好感ガイド山里え
- ・空気もきれい よき離島かな

